週刊住宅
2021年（令和3年）9月20日号
NO. 2975　（毎週月曜日発行）
年ぎめ購読料 18,164円本体・送料込み（税込み19,980円）
発行所　株式会社週刊住宅タイムズ
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-4 巴ビル
電話:03-3234-2050 FAX:03-3234-2070
発行人 週刊住宅タイムズ　代表者 鈴木美由紀
2020年6月17日 第三種郵便物認可
問い合わせ:info@sjt.co.jp 情報提供:press@sjt.co.jp

CFネッツ流
新・大家実践塾

170

神社の看板

新たな取り組みに向けて
歴史からヒントを探索

「父の代では絶対に認められなかったことなのだが、神社のツイッターを始めることにした」と報告した宮司さん。その宮司さんから、A4の用紙に印刷されたQRコードを渡された。早速、それをiPhoneで読み込んでみると、神社の歴史や日常などが綴られていた。

今後の神社経営について、いろいろと工夫されている宮司さん。社務所の窓口に、前までは無かったお守りなどの神社グッズのメニューも貼られていた。その新規事業（？）の一つとして、「車の祈祷」も始めることになっている。

事前にウィキペディアで調べたところによると、こちらの神社は昔、相撲を奉納していたとのことだった。「それだ！」と思った。「お相撲さんが車に乗っているキャラクターなんて、あまり乗り気ではないようだった。質問を変えて「何か、この神社の来歴みたいなものが分かる資料はございますでしょうか？」と聞いてみた。すると、宮司さんは以前に地域の方が作成したという、地元案内の記事を持ってきてくれた。

神社が創建されたのは、1000年以上も前だった。旅行安全や武道の神様としての面もあるとのことだったので、他にもいろんなパターンが考えられそう。

他にも、相続税の申告手続き、建物建替、底地整理、コインパーキング契約、などについての打ち合わせもしたが、この看板の話が一番楽しかった。

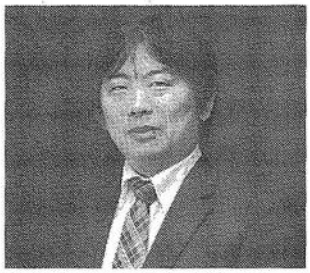
◇　◇　◇

現在、その祈祷所への案内看板の作成の依頼もいただいている。文字だけの看板では寂しいので、何か神社のキャラクターを作って看板に入れた方が楽しくなるはずと思った。

いかがでしょうか？」と尋ねたら、宮司さんは「いいですね。しかし、他のパターンも作っていただくことは可能か？　その中から選ぶようにしたいと思う」と返答した。お相撲さんには、いきなり個別相談は怖いという方はLINEで覗いてみてください

個別相談はこちらからお気軽に！https://myfm.jp/H4UPLE/rc/493547/anonymous7347

https://lin.ee/njPVcID

◇　◇　◇

鎌倉鑑定　小林雅裕
247－0056　神奈川県鎌倉市大船2－19－35－4F
電話＝0467・22・7772　ファクス＝045・330・5773　モバイル＝080・4196・1167
kob_yashi@kkantei.com